

専門員実践力強化研修会 I 開催要綱

1. 趣 旨

日常生活自立支援事業は、各地域において権利擁護の視点から高齢者や障害者の生活を支える事業として定着しており、平成30年3月時点の利用契約件数は約5万3千件、事業開始以来の新規契約締結件数の累計は15万7千件を越えています。

一方、本事業に寄せられる相談内容や支援内容は年々複雑・多様化しており、障害者の地域生活移行や権利侵害事例への対応、成年後見制度との連携が必要な事例が増え、また、地域包括支援センターをはじめ幅広い関係機関や専門職との連携や協働による対応が求められるなど、本事業の専門員に求められる専門性の水準が高まっています。

本研修会は、こうした状況において、本事業に新たに従事する専門員が各地域において十分な役割を果たしていけるよう、権利擁護および相談援助の基本的な視点ならびに本事業の推進に必要とされる知識・技術の習得の支援を目的に開催するものです。

| | |
|----------|---|
| 2. 主 催 | 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 |
| 3. 期 日 | 令和元年 7 月 17 日(水) ~ 18 日(木) |
| 4. 対 象 | (1) 新任の専門員等 ①新任の専門員：昨年度の専門員実践力強化研修会 I 以降に日常生活自立支援事業の専門員となった方 ②日常生活自立支援事業の基本的な内容の復習を希望する専門員 (2) 都道府県・指定都市社協の日常生活自立支援事業の担当職員 |
| 5. 会 場 | 全国社会福祉協議会 灘尾ホール 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階 TEL.03-3581-4655 (全国社会福祉協議会地域福祉部) |
| 6. 定 員 | 250 名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます |
| 7. 参 加 費 | 5,000 円 |
| 8. プログラム | ※裏面をご覧ください |

研修プログラム

【第1日】 7月17日（水）

| | |
|----------------------|---|
| 10:50～11:00 | 開会・オリエンテーション |
| 11:00～11:40 (40分) | 情勢説明「日常生活自立支援事業の現状と今後の展開」 全国社会福祉協議会 地域福祉部 |
| 11:40～12:30 | 昼食休憩 |
| 12:30～13:40 (70分) | 講義1「社会福祉実践における権利擁護の視点」 神奈川県立保健福祉大学 顧問 山崎美貴子 氏 地域における権利擁護実践を通じて地域福祉の実現に取り組む専門員への期待、相談援助の専門職として拠って立つべき基本的視点を学ぶ。 |
| 13:40～13:55 | 休憩 |
| 13:55～15:05 (70分) | 講義2「権利擁護支援の現状、課題と日常生活自立支援事業の意義」 法テラス埼玉法律事務所 常勤弁護士/ 日本弁護士連合会 高齢者・障害者権利支援センター 運営委員 水島 俊彦 氏 意思決定支援や成年後見制度等の動向を学ぶとともに、本事業の社会的な意義と役割について理解を深める。 |
| 15:05～15:20 | 休憩 |
| 15:20～16:30 (70分) | 講義3「判断能力と契約締結能力に関する基本的理解」 千葉大学 社会精神保健教育研究センター 法システム研究部門 教授 五十嵐禎人 氏 判断能力、契約締結能力とは何か。その基本的な理解を深めるとともに、認知症・知的障害・精神障害における判断能力の障害と留意点について学ぶ。 |
| 16:30～16:45 | 休憩 |
| 16:45～17:55 (70分) | 先輩専門員に学ぶ「権利擁護と専門員活動の実際」 コーディネーター：西東京市社会福祉協議会 関根 裕恵 氏 先輩専門員：南魚沼市社会福祉協議会 主事 田中 智史 氏 先輩専門員：富士吉田市社会福祉協議会 主事 宮下 隆仁 氏 先輩専門員の実践の様子を聞き、利用者の権利擁護・日常生活支援に関する考え方や専門員としての活動の姿勢について学ぶ。 |
| 17:55～18:00 | 事務連絡・閉会 |
| 18:05～19:00 | 交流会 |

【第2日】 7月18日（木）

| | |
|-----------------------|---|
| 9:00～12:00 (180分) | 講義・演習「日常生活自立支援事業における相談援助活動～精神障害者とのかわりをおして～」 愛知淑徳大学 福祉貢献学部 学部長 瀧 誠 氏 精神障害のある利用者の疾病や障害、生活のしづらさを中心に、利用者の理解、支援上の課題の把握、支援計画の組み立てと具体的な援助の視点等、対人援助職である専門員が備えるべき基本的な知識・技術を学ぶ。 |
| 12:00～12:50 | 昼食休憩 |
| 12:50～15:50 (180分) | 事例検討「日常生活自立支援事業における相談援助活動～多機関との連携～」 ルーテル学院大学 総合人間学部 教授 福島 喜代子 氏 事例提供者：南魚沼市社会福祉協議会 主事 田中 智史 氏 事例検討を通して、利用者の権利擁護・日常生活支援の際に必要なとなる多機関との連携に関するコツや留意点を学ぶ。 |
| 15:50～16:00 | 閉会 |

| | |
|----------------------|--|
| 9. 申込期限 | 令和元年 6 月 28 日 |
| 10. 申込方法 | ○別添の参加・宿泊・昼食申込書により、名鉄観光サービス(株) MICE センター宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込案内等をお届けいたします。 ○参加費等のお支払いは、期日までにお済ませください。 ○当日は、参加券をご持参ください。 |
| 11. 個人情報の取り扱い | 本研修につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)MICE センター」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加・昼食・宿泊申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。 |
| 12. 必要な配慮について | 車いすの使用や手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、申込書の記入欄にてお知らせください。 |

<研修内容の問い合わせ先>

全国社会福祉協議会地域福祉部（担当：根岸・三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858 メールアドレス：c-kenri@shakyo.or.jp

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払いについては、「参加・昼食・宿泊のご案内」をご覧ください。

